

## 文化財収蔵庫再整備事業について（報告）

### 1 これまでの経過

考古資料や民俗資料等の文化財については、第1収蔵庫（旧善行調理場）、第2収蔵庫（旧北部合同調理場）、御所見収蔵庫（旧御所見市民センター）に分散して保管管理をしてきましたが、各施設とも老朽化が進み、保管収蔵品への影響が懸念されていたことから、新たな文化財収蔵庫の整備が必要な状況でした。

平成26年に第1次藤沢市公共施設再整備プランで「文化財収蔵庫再整備」を検討事業として以降、令和3年度からの第3次プランでは実施事業として位置づけ、令和4年度には、第1収蔵庫の収蔵品を仮収蔵施設（旧村岡保育園、旧南市民図書館）へ移動し、第1収蔵庫及び隣接する旧あずま保育園の解体工事を実施しました。令和5年度からは、令和7年度の供用開始に向け、その跡地に新収蔵庫の整備を行う予定で準備を進めるなかで、建設費が当初想定していた約5億円から、物価高騰等の影響で約13億円と大幅増となる見込みであることが明らかになりました。

このことを受け、新収蔵庫の整備につきましては、収蔵品の単なる保管管理を行うだけでなく、改めてその機能や建設予定地も含めて見直しの検討を行うこととしました。

### 2 今後の方向性

新収蔵庫の整備については、単に収蔵品の効率的な整理や適正な保管を行うだけでなく、より多くの市民が文化財に触れ、藤沢の歴史を感じる機会を提供できるよう機能の充実を図るという点に留意し、現在の建設予定地が適正であるかも含め、見直しの検討を行うこととします。

以上

事務担当：生涯学習部 郷土歴史課